

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2018年28週（7月2週 7/9～7/15）

2018年6月報

愛知県感染症情報センター（愛知県衛生研究所内）

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619（企画情報部）

今週の内容

◆トピックス

RSウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎、結核、蚊媒介感染症、夏休みにおける海外での感染症予防、ダニ媒介感染症

◆病原体検出情報

◆定点医療機関コメント

咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌感染症、手足口病、インフルエンザ等

◆全数把握感染症発生状況（ ）内は件数。

結核(23)、腸管出血性大腸菌感染症(3)、E型肝炎(1)、A型肝炎(2)、レジオネラ症(7)、アメーバ赤痢(4)、後天性免疫不全症候群(7)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(1)、梅毒(5)、百日咳(6)

◆2018年6月報

◆定点把握感染症報告数（保健所別、年齢別）

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆RSウイルス感染症（図1）

28週の定点当たり報告数は0.38、27週39人→28週70人（うち0歳30人、1歳24人）で、2歳未満の報告数が全体の77.1%を占めています。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

◆手足口病

28週の定点当たり報告数は1.19、27週137人→28週217人（1.58倍）です。

【参考ページ】疾患別ウイルス検出状況（速報）

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

◆ヘルパンギーナ（図2）

28週の定点当たり報告数は3.24、27週223人→28週589人（2.64倍）です。

【参考ページ】豊橋市：ヘルパンギーナが流行しています

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/60540.htm>

◆流行性角結膜炎

28週の定点当たり報告数は0.54、27週32人→28週19人（0.59倍）です。

◆結核（図3）

2018年28週までの累積報告数は、7月18日現在819件（うち無症状病原体保有者は236件）です。2017年28週までの累積報告数は825件（同225件）、2017年総計は1,533件（同433件）です。

◆蚊媒介感染症について

愛知県におけるデング熱の2018年28週までの累積報告数は9件、2017年総計は23件で、全て輸入感染症例でした。

チクングニア熱の2018年報告例はありません。2017年は1件（輸入感染症例）の報告がありました。

【参考ページ】注意すべき蚊による感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/mosquito.html>

蚊媒介感染症（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

◆夏休みにおける海外での感染症予防について

【参考ページ】夏休みにおける海外での感染症予防について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

◆ダニ媒介感染症について

【参考ページ】ダニ媒介感染症（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0001064495.html>

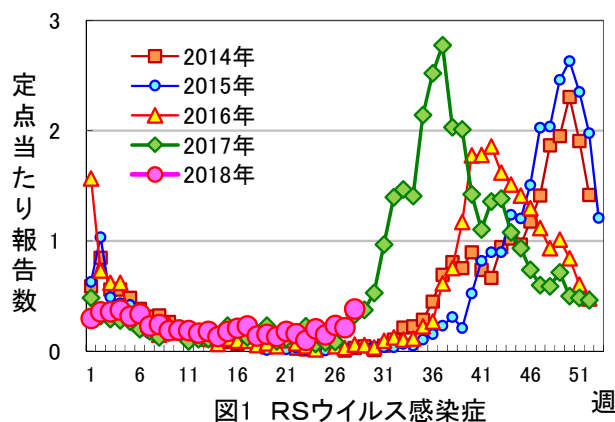


図1 RSウイルス感染症

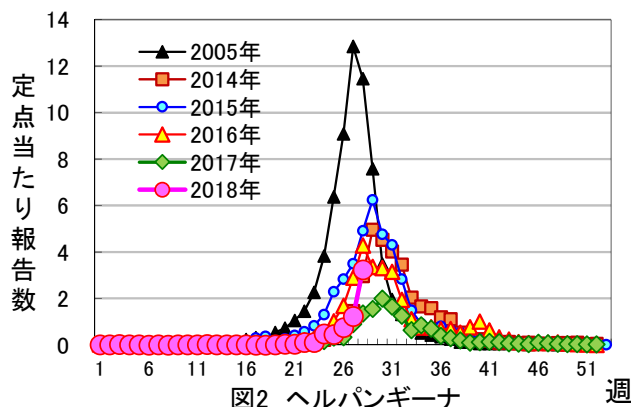


図2 ヘルパンギーナ

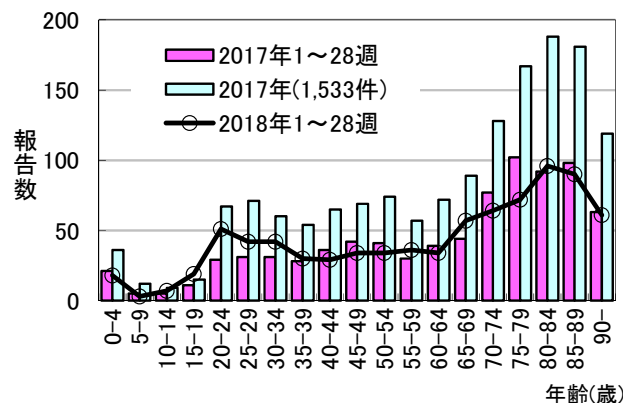


図3 結核の年齢階級別報告数

（愛知県、診断週集計、無症状病原体保有者含む）

病原体検出情報 —2018年疾患別ウイルス検出速報— (2018年7月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ 2017/2018 シーズン	**麻しん・風しん
患者数	154	15	8	6	2	7	4	564	44(71)
CV-A10	-	1	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	3	-	-	-	-	-	-	-
CV-B1	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
CV-B2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-B4	1	-	-	-	-	-	-	-	3(3)
CV-B6	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
E-3	-	-	-	-	-	-	-	1	-
E-6	-	-	-	-	-	-	-	3	1(0)
HRV	-	1	-	-	-	-	-	-	5(8)
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	75	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	176	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	16	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	223	1(1)
HMPV	-	-	-	-	-	-	-	1	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	2 [#] (4)
Rota A G1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	15	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	4	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	7	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	2	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	54	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	9	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV-1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	3	-	-	2	-	-	-	1	1(0)
Ad-3	-	-	-	1	1	-	-	-	1(0)
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	-	1	-	-	-	-
検査中	31	7	8	3	0	5	2	7	10(20)
陰性	27	3	0	0	0	2	2	63	22(35)

*インフルエンザは2017/2018シーズン(2017年9月～)の結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲 #ワクチン株1名

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、
EV: エンテロウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、
FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、
HRV: ライノウイルス、MeV: 麻しんウイルス、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、SV: サポウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- インフルエンザA型 3名
(同じ中学校でクラスも同じです。)
溶連菌感染症、感染性胃腸炎減少しています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- アデノウイルス感染症散発
胃腸炎多し
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- ウイルス性腸炎 31名、溶連菌 15名と先週とそう変わらず。
先週まではいなかったヘルパンギーナが今週11名と急に増えました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- 溶連菌散発
胃腸かぜが多いようです。
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

- 今週からヘルパンギーナが増えてきました。
手足口病は1例のみ
アデノウイルス感染症もみられます(咽頭結膜熱8歳女)
その他、溶連菌感染症等
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 咽頭結膜熱 1名です。
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告なし
アデノウイルスの咽頭炎が増えています。
いまだにRSVがいます。
【春日井市 春日井市民病院】
- 夏かぜ少々
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 感染性胃腸炎、ヘルパンギーナが目立ちます。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 感染性胃腸炎、手足口病散発
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 手足口病が出てきました。
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- アデノウイルス感染症 1名(7か月)
手足口病、ヘルパンギーナちらほら
高熱だけの咽頭炎が目立ちます。
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

- StrepA(+) 3名
アデノウイルス(+) 5歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- 咽頭アデノ 2歳男 7歳男
ヘルパンギーナが増加傾向
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- ヘルパンギーナ、手足口病増えてきました。
【碧南市 永井小児クリニック】
- 咽頭結膜熱(家族発症 父親から)
【知立市 宮谷クリニック】

東三河地区

- ヘルパンギーナが増えてきました。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- 病原性大腸菌O8 0歳5か月女
【豊川市 ささき小児科】
- 10か月女 インフルエンザA(祖母、父がインフルに罹患)
【田原市 かわせ小児科】
- マイコ 10歳女 1例
【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】
- 病原性大腸菌O18 1名
カンピロバクター 1名
EBウイルス 1名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2018年7月18日現在

一～三類感染症

＜関連リンク＞ 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun180501.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2018年28週報告数			2018年総計(1～28週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	8	2	2	316	73	84
豊田市	1		1	42	6	11
豊橋市	1	1		48	3	29
岡崎市				28	8	7
一宮	3		1	70	19	22
瀬戸	2			48	10	17
半田				34	10	14
春日井	2			52	7	17
豊川				16	5	6
津島	1			51	8	5
西尾				14	1	1
江南	1	1		21	3	1
新城	1			3		2
知多	1		1	29	12	3
清須	1			16	4	5
衣浦東部	1		1	37	6	14
合計	23	4	6	825	175	238

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	豊橋市	67歳	男	7/6	7/7	7/11	O157、VT1(+) VT2(+)
2	岡崎市	40歳	男	6/29	7/2	7/9	O157、VT2(+)
3	春日井	35歳	女	7/8	7/9	7/12	O157、VT1(+) VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **E型肝炎（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	江南	71歳	男	国内

● **A型肝炎（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	35歳	男	無	国内
2	名古屋市	48歳	男	無	国内

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	67歳	男	肺炎型	国内
2	名古屋市	76歳	男	肺炎型	国内
3	名古屋市	75歳	男	肺炎型	国内
4	豊橋市	67歳	男	肺炎型	国内
5	一宮	56歳	男	肺炎型	国内
6	津島	69歳	男	肺炎型	不明
7	衣浦東部	69歳	男	肺炎型	国内

● **アメーバ赤痢（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	52歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
2	名古屋市	54歳	女	腸管アメーバ症	性的接触	国内
3	名古屋市	32歳	男	腸管アメーバ症	経口	国内
4	豊田市	44歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	不明

● **後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	37歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	23歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	26歳	男	無症候性キャリア	性的接触、 静注薬物使用	国内
4	名古屋市	24歳	男	無症候性キャリア	性的接触	不明
5	名古屋市	28歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
6	名古屋市	36歳	男	無症候性キャリア	性的接触	タイ
7	知多	49歳	男	無症候性キャリア	その他	国内

● **侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	岡崎市	83歳	女	不明	不明
2	春日井	84歳	女	不明	国内

● **侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	知多	80歳	女	有	国内

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	23歳	女	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	49歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	45歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	豊橋市	21歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	知多	42歳	女	早期顕症	性的接触	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	9歳	女	有（追加接種有）	家族内感染
2	名古屋市	3歳	女	有（追加接種有）	国内
3	豊田市	12歳	男	有（追加接種有）	流行有（学校）
4	知多	0歳	男	無	国内
5	清須	2歳	男	不明	国内
6	衣浦東部	10歳	女	有（追加接種有）	国内

2018年6月報

(2018年7月17日現在、診断週に基づく集計)

6月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2017～2018年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2018年6月			2018年 累計 ＜愛知県全体＞	2017年 総計 ＜愛知県全体＞
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	71 (19)	60 (12)	131 (31)	764 (225)	1,533 (433)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	13 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	11 (4)	7 (2)	18 (6)	36 (15)	178 (42)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	4	6
	A型肝炎	3	6	9	11	17
	エキノкокクス症	0	0	0	0	1
	オウム病	0	0	0	0	3
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	1	4
	デング熱	0	0	0	8	23
	ブルセラ症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	1	1
	レジオネラ症	17	5	22	59	102
五類 (24)	アメーバ赤痢	1	3	4	25	57
	ウイルス性肝炎	0	1	1	1	10
	内訳	B型	0	1	1	9
		その他	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	5	4	9	63	117
	急性脳炎	1	1	2	19	43
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	2	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	1	6	25	37
	後天性免疫不全症候群	3	5	8	50	72
	内訳	無症候性キャリア	2	3	5	40
		AIDS	0	2	2	29
		その他	1	0	1	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	0	2	17	35
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	2	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	8	13	124	208
	水痘（入院例に限る。）	4	3	7	15	20
	梅毒	30	28	58	225	344
	内訳	無症候	8	5	13	108
		早期顕症	22	22	44	225
		晩期顕症	0	1	1	10
		先天梅毒	0	0	0	1
	播種性クリプトコックス症	0	3	3	9	12
	破傷風	0	0	0	1	11
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	0
	百日咳*	16	6	22	111	—
	風しん	0	1	1	2	3
	麻しん	0	1	1	26	1
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	1
総 計		174	143	317	1,604	2,872

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症（全数把握）に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2018年6月			2018年 累計	2017年 総計
			愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計	愛知県全体 合計
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	17	50	67	410	909
		女	32	23	55	306	677
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	12	15	27	120	223
		女	14	17	31	172	313
	尖圭コンジローマ	男	4	10	14	96	211
		女	8	2	10	56	96
	淋菌感染症	男	14	30	44	239	462
		女	4	2	6	34	66
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		71	2	73	469	1,001
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		7	0	7	62	154
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2	3

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2018年6月			2018年 累計	2017年 総計
	愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	3	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

2018年28週(2018年7月9日～2018年7月15日)

[illegible]

愛知県感染症情報

2018年28週(2018年7月9日～2018年7月15日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ 定点	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
	インフル エンザ (鳥インフル エンザ等感 染症を除く。)	RS ウィルス感 染症	咽 頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感 染性胃腸炎	水 痘	手 足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結 膜炎	流 行性角結膜 炎	細 菌性髄膜炎	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ 肺炎	クラ ミジア肺炎 (オウム病を 除く。)	感 染性胃腸炎 (病原体がロ タウイルスで あるものに 限る。)	イン フルエンザ による入院 患者
計	5	45	49	219	559	23	170	18	67	392	15	0	17	0	0	5	0	0	0
～6ヶ月		11			1	1	2		1	3									
～12ヶ月	1	7	1	3	32		13		21	22									
0歳																			
1歳		14	13	13	95		27	2	34	109			1						
2歳		11	11	16	69	1	31	1	6	98	2		2						
3歳		1	7	32	55	3	30	3	5	54	2		2						
4歳		1	4	38	60		23	3		54	1		1						
5歳			3	34	41	3	22	1		21	2								
6歳			3	37	30	3	11	3		14	2								
7歳			1	15	22	2	2	1		8	2								
8歳			4	9	25	3	2			4									
9歳				6	16	1	1			3									
5歳～9歳																			
10歳～14歳	4		1	6	41	5	5	2		2	4		1			3			
15歳～19歳				4	16	1													
20歳～			1	6	56		1	2											
20歳～29歳													5						
30歳～39歳													4						
40歳～49歳													1						
50歳～59歳																1			
60歳～69歳																			
70歳～																			
70歳～79歳																			
80歳以上																1			